

景況・経営動向調査結果

－ 令和3年度 第4四半期（2022年1～3月期） －

■ 目 的 ■

会員事業所の経営動向・業況を知ることにより、長崎市内の景況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

■ 調査対象 ■

本所会員事業所のうち、5産業（製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業）400社
（回答192社、回収率48.0%）

※業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

■ 調査期間 ■

令和4年4月14日～令和4年4月25日

■ 調査方法 ■

郵送・E-mailによるアンケート方式

■ 分析方法 ■

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行なった

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 ⇒ 従業員20人以下

商業・サービス業 ⇒ 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

2022年1～3月期の実績は、全産業ベースで▲27.8〔前回(1月)調査比-7.1〕

2022年4～6月期の見通しは、全産業ベースで▲21.2〔今期実績比+6.6〕

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業は▲12.0（前回調査比-4.0ポイント）、非製造業は▲30.2（同-7.5ポイント）で、ともに悪化した

また、2022年4～6月の見通しは、製造業は▲8.0（今期実績比+4.0ポイント）、非製造業は▲23.3（今期実績比+6.9ポイント）で、ともにマイナス水準ながらも持直しの動きが継続する見通しとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）



2022年1～3月期の実績は、全産業ベースで▲24.2〔前回(1月)調査比-4.9〕

2022年4～6月期の見通しは、全産業ベースで▲22.9〔今期実績比+1.3〕







- 売上・生産額 今期実績▲21.1（-3.0） 来期は製造業・非製造業ともにマイナス水準の見通し
- 利益・採算面 今期実績▲35.3（-15.3） 来期は製造業・非製造業ともにマイナス水準の見通し
- 資金繰り 今期実績▲15.0（-2.5） 来期は製造業・非製造業ともにマイナス水準の見通し
- 設備投資 今期実績▲18.0（-2.5） 来期は製造業・非製造業ともにマイナス水準の見通し
- 雇用状況 今期実績▲22.6（+1.1） 来期は製造業・非製造業ともに不足の見通し
- 経営上の問題点 全産業ベースで52期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ

※ 上記（ ）内の数字は前回調査比

産業天気図 < 自社業況の総合判断：前年同期比 >

	1～3月期 実績		4～6月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 24.2		▲ 22.9
製造業		▲ 12.5		▲ 21.8
非製造業		▲ 25.9		▲ 23.0
建設業		▲ 10.0		▲ 30.0
卸売業		▲ 16.6		▲ 11.1
小売業		▲ 35.6		▲ 28.1
サービス業		▲ 27.3		▲ 17.8
小規模企業等		▲ 34.1		▲ 31.5

- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上～100
	25以上～50未満
	0以上～25未満
	▲25以上～0未満
	▲50以上～▲25未満
	▲100～▲50未満

前年同期（2021年1～3月期）と比較して

2022年1～3月期 実績
全産業 ▲27.8〔前回調査比-7.1〕

全産業ベースで見ると、▲27.8（前回調査比-7.1）となった。

業種別にみると、製造業は▲12.0（同-4.0）と悪化している。非製造業は、建設業（同-4.9）、卸売業（同-9.7）、小売業（同-10.1）、サービス業（同-2.3）の全業種で悪化し、非製造業全体で▲30.2（同-7.5）となった。

また、小規模企業等は6.3ポイント悪化し、▲36.5となった。

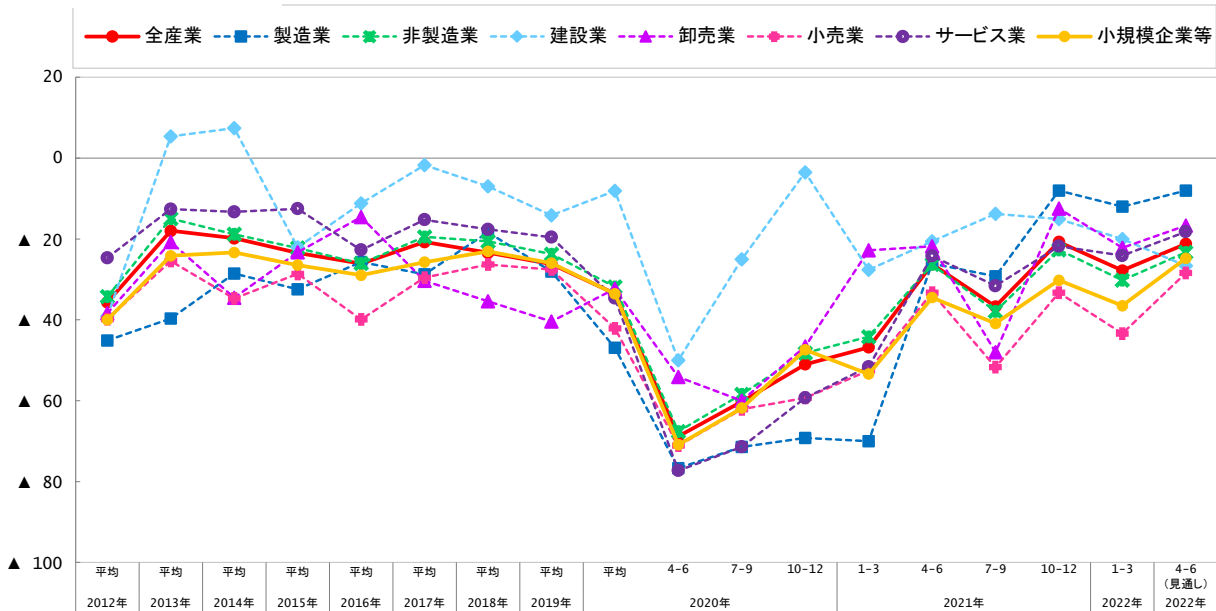
2022年4～6月期 見通し
全産業 ▲21.2〔今期実績比+6.6〕

全産業ベースで見ると、▲21.2（今期実績比+6.6）となった。

業種別にみると、製造業は▲8.0（同+4.0）。非製造業は建設業（同-6.6）で悪化したものの、卸売業（同+5.5）、小売業（同+15.0）、サービス業（同+5.9）で持直しの動きが続く見通しとなり、非製造業全体では▲23.3（同+6.9）となった。

また、小規模企業等は▲24.8（同+11.7）となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前期（2021年10～12月期）と比較して

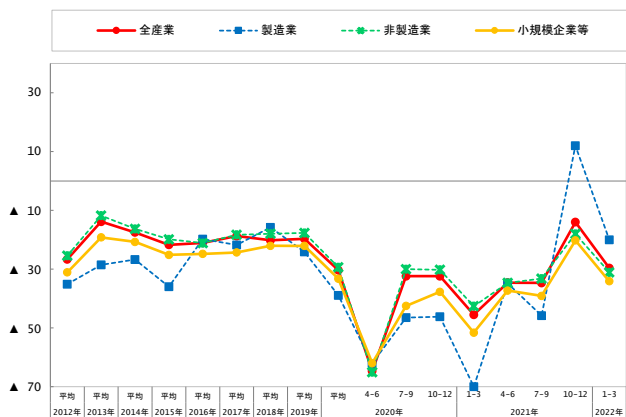
2022年1～3月期 実績
全産業 ▲29.6〔前期比-15.6〕

全産業ベースで見ると、▲29.6（前期比-15.6）となった。

業種別にみると、製造業は20.0（同-32.0）と大幅に悪化している。非製造業は、建設業（同-4.5）、卸売業（同-11.9）、小売業（同-21.7）、サービス業（同-7.0）と悪化。非製造業全体で▲31.1（同-13.1）となった。

また、小規模企業等は13.9ポイント悪化し、▲34.1となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前年同期（2021年1～3月期）と比較して

2022年1～3月期 実績
全産業 ▲24.2〔前回調査比-4.9〕

全産業ベースで見ると、▲24.2（前回調査比-4.9）となった。

業種別にみると、製造業は▲12.5（同-4.2）と悪化している。非製造業は、建設業（同+17.2）で持直しの動きが見られたものの、卸売業（同-7.5）、小売業（同-15.2）、サービス業（同-5.1）と悪化し、非製造業全体で▲25.9（同-5.0）となった。

また、小規模企業等は5.9ポイント悪化し、▲34.1となった。

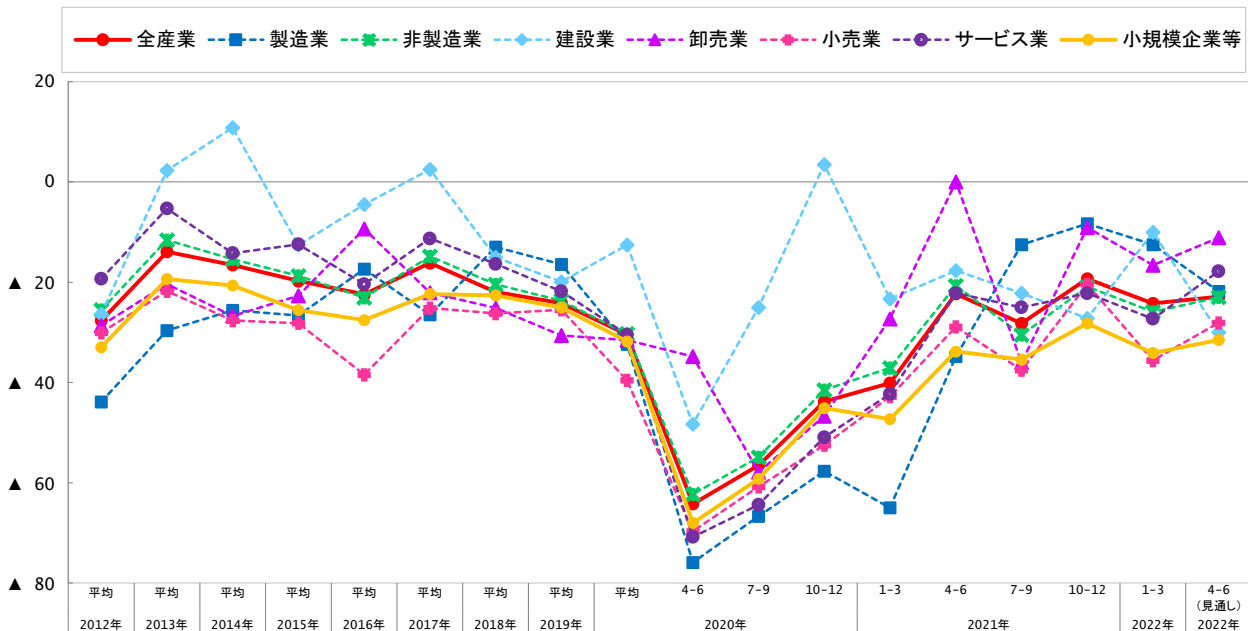
2022年4～6月期 見通し
全産業 ▲22.9〔今期実績比+1.3〕

全産業ベースで見ると、▲22.9（今期実績比+1.3）となった。

業種別にみると、製造業は▲21.8（同-9.3）。非製造業は建設業（同-20.0）で悪化したものの、卸売業（同+5.5）、小売業（同+7.5）、サービス業（同+9.5）で持直しの動きが続く見通しとなり、非製造業全体で▲23.0（同+2.9）となった。

また、小規模企業等は▲31.5（同+2.6）となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前期（2021年10～12月期）と比較して

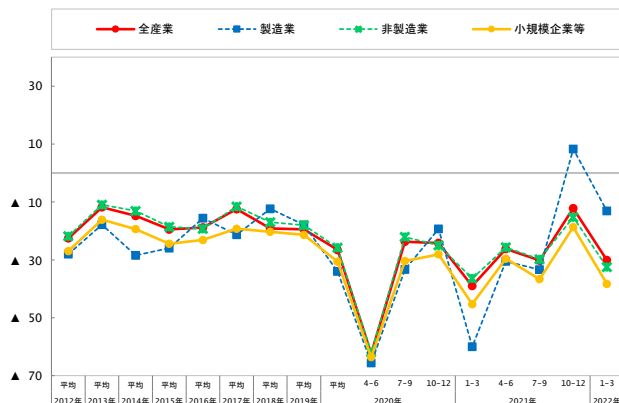
2022年1～3月期 実績
全産業 ▲30.1〔前期比-17.9〕

全産業ベースで見ると、▲30.1（前期比-17.9）となった。

業種別にみると、製造業は▲13.1（同-21.4）と悪化している。非製造業は、建設業（同+1.5）を除き、卸売業（同-20.9）、小売業（同-31.3）、サービス業（同-11.6）と悪化し、非製造業全体で▲32.5（同-17.2）となった。

また、小規模企業等は19.6ポイント悪化し、▲38.3となった。

BSI：「上昇」-「低下」



前年同期（2021年1～3月期）と比較して

2022年1～3月期 実績
全産業 ▲21.1〔回調査比-3.0〕

全産業ベースで見ると、▲21.1（前回調査比-3.0）となった。

業種別にみると、製造業は▲11.6（同-3.6）と悪化している。非製造業は建設業（+23.9）で持直しの動きが見られたものの、サービス業（同±0.0）で横ばい、卸売業（同-6.8）と小売業（同-17.4）で悪化し、非製造業全体で▲22.7（同-3.1）となった。

また、小規模企業等は1.4ポイント悪化し、▲30.0となった。

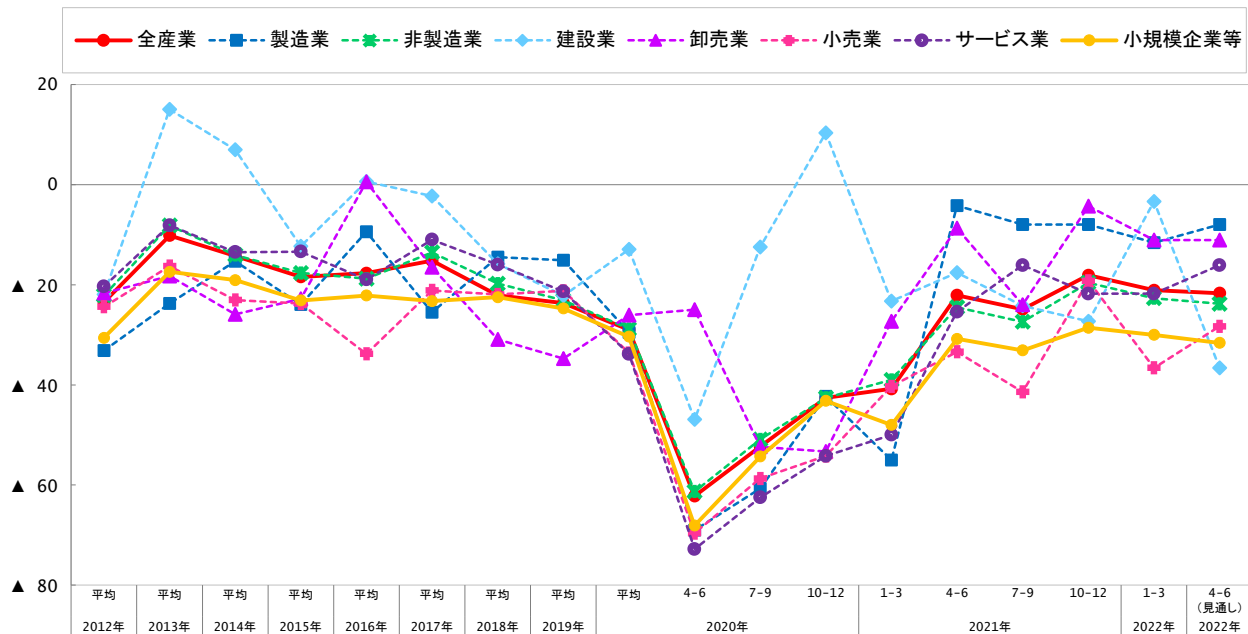
2022年4～6月期 見通し
全産業 ▲21.7〔今期実績比-0.6〕

全産業ベースで見ると、▲21.7（今期実績比-0.6）となった。

業種別にみると、製造業は▲8.0（同+3.6）。非製造業は、卸売業（同±0.0）で横ばい、小売業（同+8.3）とサービス業（同+5.7）で持直しの動きが続く見通しとなったものの、建設業（同-33.2）で大幅に悪化の見通しとなり、非製造業全体で▲23.8（同-1.1）となった。

また、小規模企業等は▲31.6（同-1.6）となった。

BSI：「増加」-「減少」



前期（2021年10～12月期）と比較して

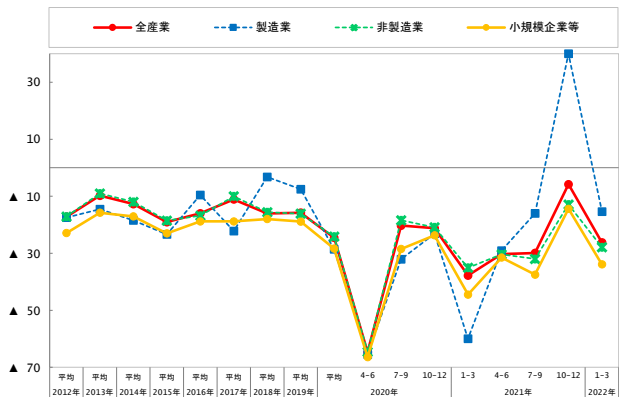
2022年1～3月期 実績
全産業 ▲26.2〔前期比-20.4〕

全産業ベースで見ると、▲26.2（前期比-20.4）となった。

業種別にみると、製造業は15.4（同-55.4）と大幅に悪化している。非製造業は、建設業（同+8.4）を除き、卸売業（同-21.9）、小売業（同-37.8）、サービス業（同-1.2）と悪化し、非製造業全体で▲27.9（同-15.0）となった。

また、小規模企業等は19.5ポイント悪化し、▲33.9となった。

BSI：「増加」-「減少」



前年同期（2021年1～3月期）と比較して

2022年1～3月期 実績
全産業 ▲35.3〔前回調査比-15.3〕

全産業ベースで見ると、▲35.3（前回調査比-15.3）となった。

業種別にみると、製造業は▲37.5（同-33.2）と大幅に悪化している。非製造業は、建設業（同+23.9）で持直しの動きが見られたものの、卸売業（同35.5）、小売業（同23.3）、サービス業（同14.2）で悪化し、非製造業全体で▲35.0（同-12.8）となった。

また、小規模企業等は▲41.6（同-13.6）となった。

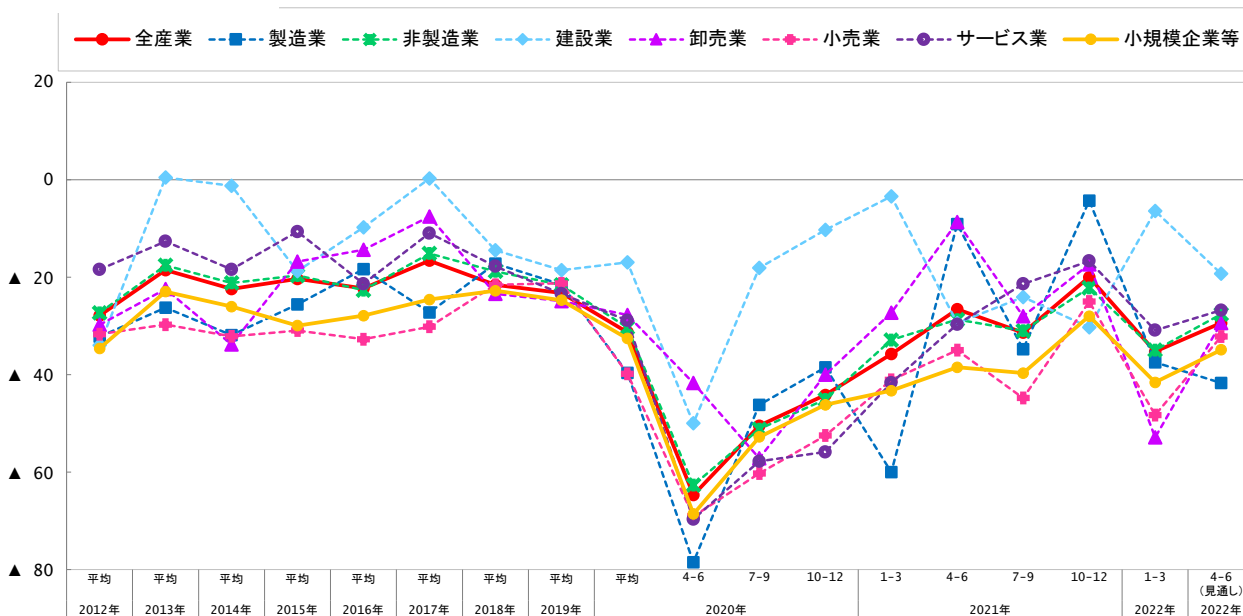
2022年4～6月期 見通し
全産業 ▲29.4〔今期実績比+5.9〕

全産業ベースで見ると、▲29.4（今期実績比+5.9）となった。

業種別にみると、製造業は▲41.7（同-4.2）。非製造業は、建設業（同-12.9）で悪化したものの、卸売業（同+23.5）、小売業（同+16.1）、サービス業（同+4.1）で持直しの動きが続く見通しとなり、非製造業全体で▲27.6（同+7.4）となった。

また、小規模企業等は▲34.9（同+6.7）となった。

BSI：「好転」-「悪化」



前期（2021年10～12月期）と比較して

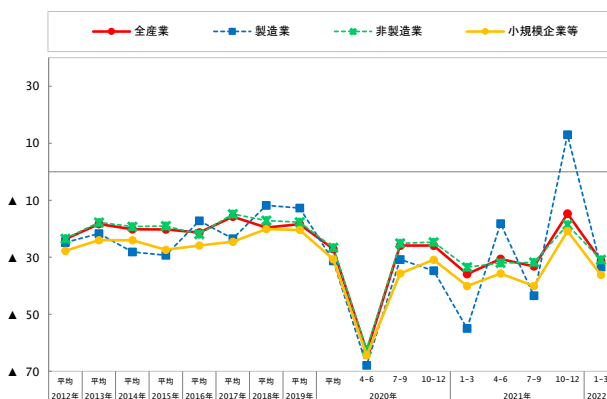
2022年1～3月期 実績
全産業 ▲31.2〔前期比-16.5〕

全産業ベースで見ると、▲31.2（前期比-16.5）となった。

業種別にみると、製造業は▲33.4（同-46.4）と大幅に悪化している。非製造業は、建設業（同+27.2）を除き、卸売業（同-20.0）、小売業（同-28.4）、サービス業（同-15.7）と悪化し、非製造業全体で▲30.9（同-12.3）となった。

また、小規模企業等は15.4ポイント悪化し、▲36.2となった。

BSI：「好転」-「悪化」



前年同期（2021年1～3月期）と比較して

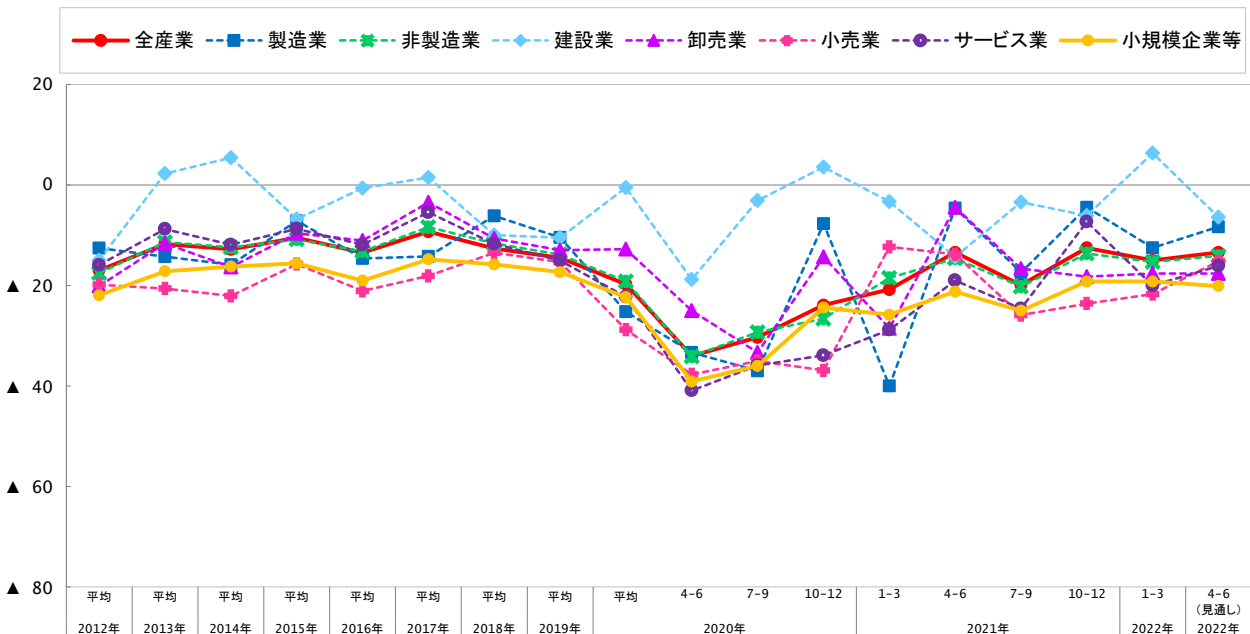
2022年1～3月期 実績
全産業 ▲15.0 [前回調査比-2.5]

全産業ベースで見ると、▲15.0（前回調査比-2.5）となった。

業種別にみると、製造業は▲12.5（同-8.1）と悪化している。非製造業は、建設業（同+12.5）、卸売業（同+0.6）、小売業（同+1.9）、で持直しの動きが見られたものの、サービス業（同-12.7）で悪化し、非製造業全体で▲15.3（同-1.7）となった。

また、小規模企業等は▲19.2（同±0.0）で横ばいとなった。

BSI：「好転」-「悪化」



前期（2021年10～12月期）と比較して

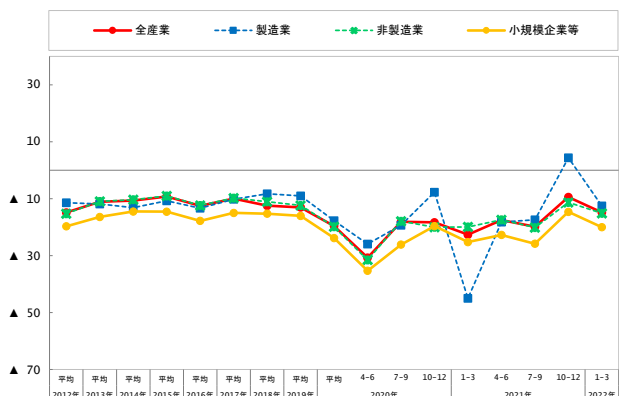
2022年1～3月期 実績
全産業 ▲14.8 [前期比-5.4]

全産業ベースで見ると、▲14.8（前期比-5.4）となった。

業種別にみると、製造業は▲12.5（同-16.9）と悪化している。非製造業は、建設業（同+6.0）を除き、卸売業（同-2.2）、小売業（同-0.7）、サービス業（同-12.2）と悪化し、非製造業全体で▲15.1（同-3.8）となった。

また、小規模企業等は5.4ポイント悪化し、▲20.0となった。

BSI：「好転」-「悪化」



前年同期（2021年1～3月期）と比較して

2022年1～3月期 実績
全産業 ▲18.0 [前回調査比-2.5]

全産業ベースでみると、▲18.0（前回調査比-2.5）となった。

業種別にみると、製造業は▲7.7（同+4.3）。非製造業は、建設業（同+5.3）で持直しの動きが見られたものの、卸売業（同-2.2）、小売業（同-5.9）、サービス業（同-5.9）で悪化し、非製造業全体で▲19.8（同-3.7）となった。

また、小規模企業等は2.1ポイント悪化し、▲25.6となった。

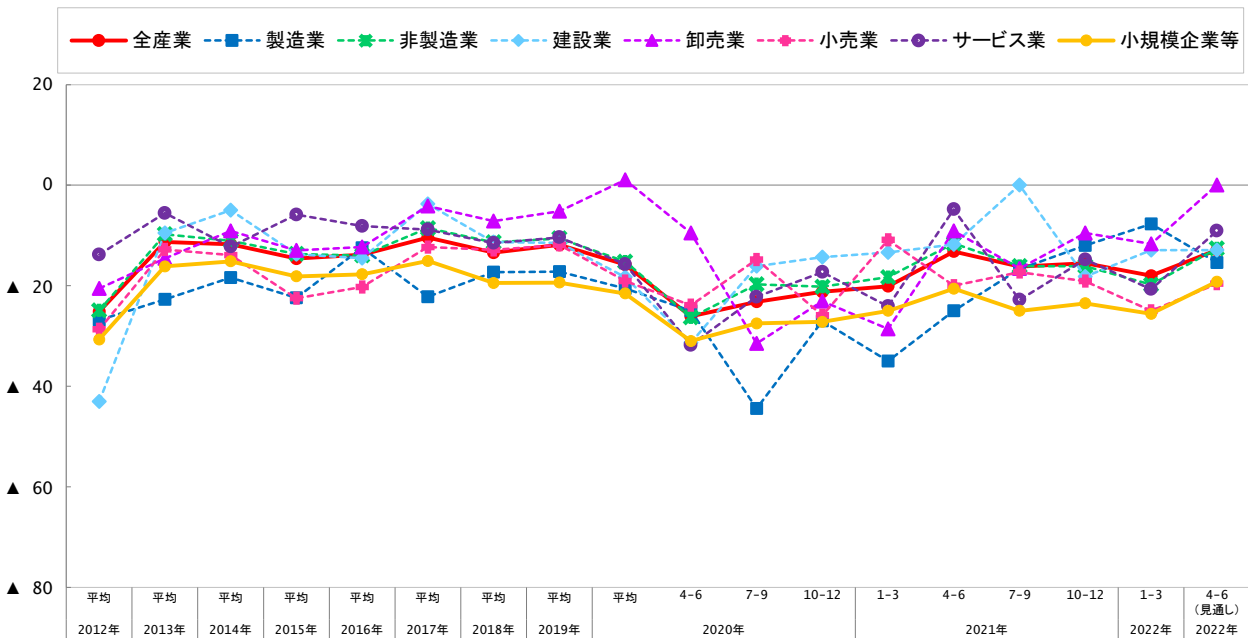
2022年4～6月期 見通し
全産業 ▲12.9 [今期実績比+5.1]

全産業ベースでみると、▲12.9（今期実績比+5.1）となった。

業種別にみると、製造業は▲15.4（同-7.7）。非製造業は、建設業（同±0.0）で横ばい、卸売業（同+11.7）、小売業（同+5.4）、サービス業（同+11.6）で増加の動きが続く見通しとなり、非製造業全体で▲12.6（同+7.2）となった。

また、小規模企業等は▲19.2（同+6.4）となった。

B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2021年10～12月期）と比較して

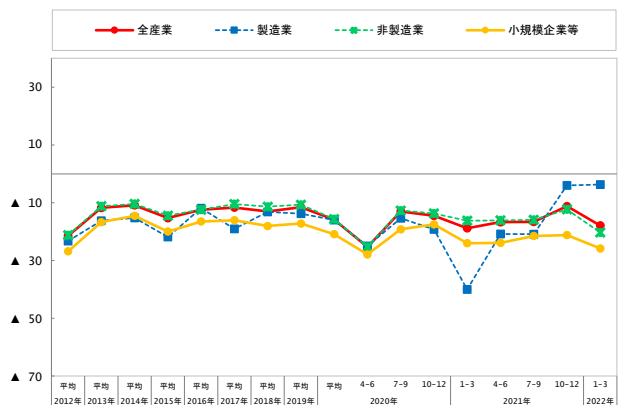
2022年1～3月期 実績
全産業 ▲17.9 [前期比-6.7]

全産業ベースでみると、▲17.9（前期比-6.7）となった。

業種別にみると、製造業は▲3.7（同+0.3）。非製造業は、卸売業（同+4.2）で持直しの動きがみられたものの、建設業（同-14.2）、小売業（同-2.8）、サービス業（同-12.7）で悪化し、非製造業全体で▲20.3（同-8.0）となった。

また、小規模企業等は▲25.8（同-4.6）となった。

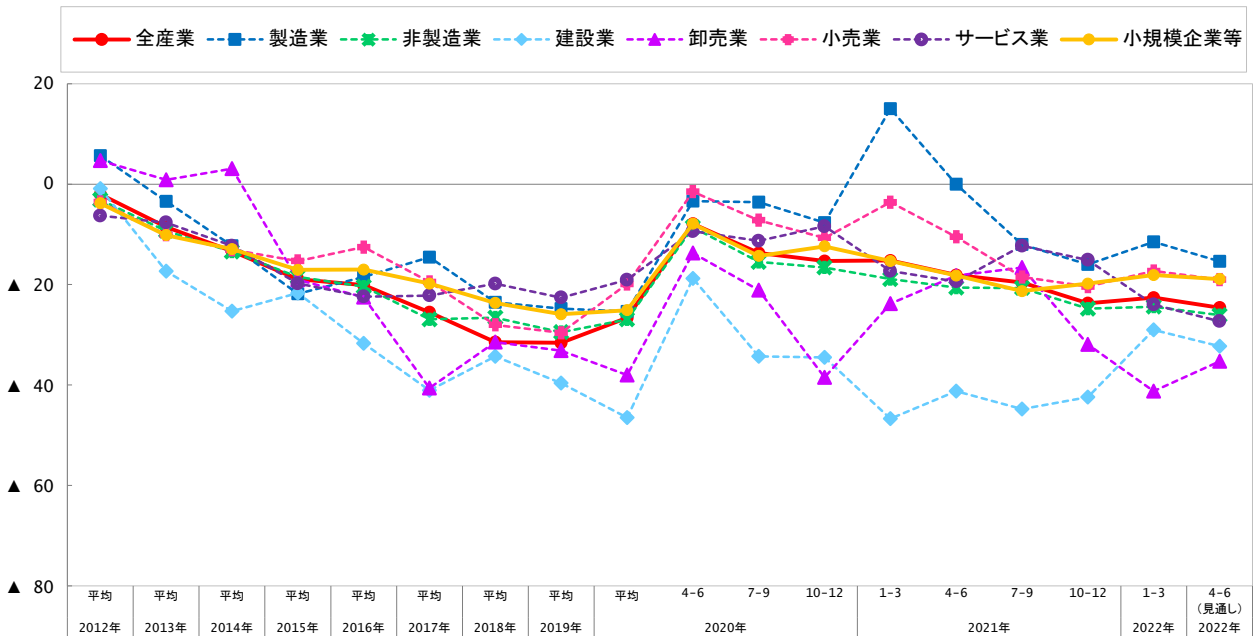
B S I : 「増加」 - 「減少」



前年同期（2021年1～3月期）と比較して

2022年1～3月期 実績 全産業 ▲22.6〔前回調査比+1.1〕	2022年4～6月期 見通し 全産業 ▲24.6〔今期実績比-2.0〕
<p>全産業ベースでみると、▲22.6（前回調査比+1.1）となった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲11.5（同+4.5）のプラス水準。非製造業は、卸売業（同-9.3）とサービス業（同-8.9）で悪化となったものの、建設業（同+13.4）と小売業（同+3.1）で改善し、非製造業全体で▲24.4（同+0.4）のプラス水準となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲18.1（同+1.7）となった。</p>	<p>全産業ベースでみると、▲24.6（今期実績比-2.0）とマイナス水準が続く見通しとなった。</p> <p>業種別にみると、製造業は▲15.4（同-3.9）。非製造業は、卸売業（+5.9）で改善の見通しとなったものの、建設業（同-3.3）、小売業（同-1.7）、サービス業（同-3.3）で悪化の見通しとなり、非製造業全体で▲26.1（同-1.7）となった。</p> <p>また、小規模企業等は0.8ポイント悪化し、▲18.9となった。</p>

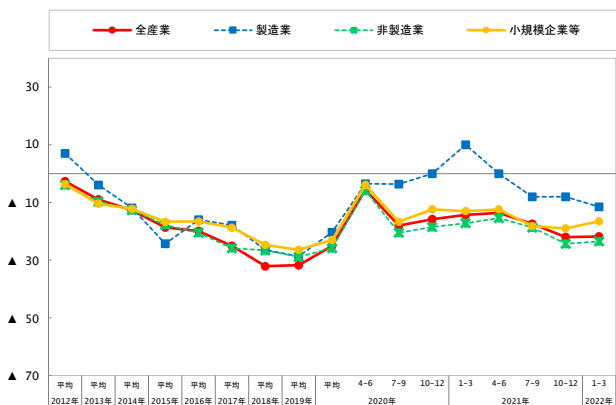
B S I : 「過剰」 - 「不足」



前期（2021年10～12月期）と比較して

2022年1～3月期 実績 全産業 ▲21.8〔前期比+0.2〕
<p>全産業ベースでみると、▲21.8（前期比+0.2）となった。</p> <p>業種別に見ると、製造業は▲11.5（同-3.5）と悪化している。非製造業は、サービス業（同-6.7）で悪化したものの、建設業（同+10.6）、卸売業（同+0.4）、小売業（同+1.1）で持直しの動きが見られ、非製造業全体で▲23.5（同+0.8）となった。</p> <p>また、小規模企業等は▲16.5（同+2.5）となった。</p>

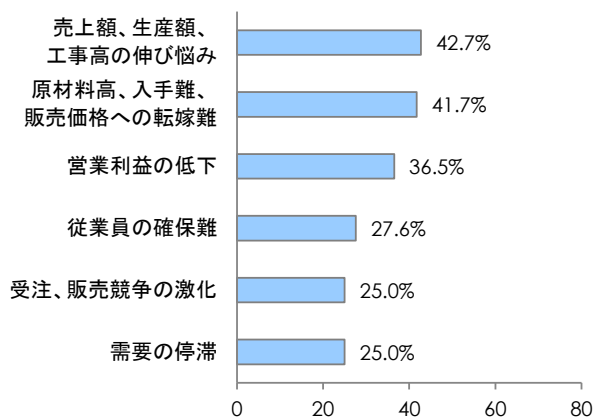
B S I : 「過剰」 - 「不足」



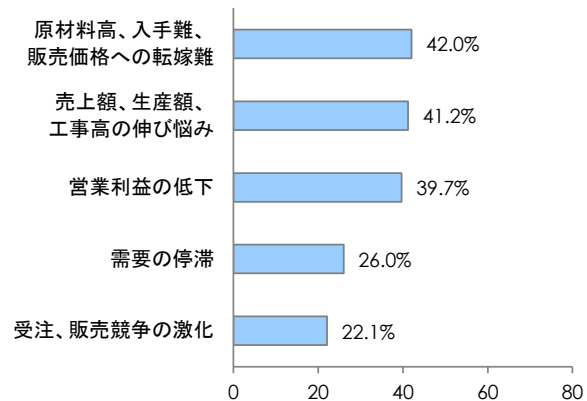
全産業ベースで見ると、前回調査（50.8%）と同様にトップは「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」（42.7%）。2009年4～6月期の調査開始以来52期連続でのトップとなり、非常に根深い問題点となっている。

また、新型コロナウイルス感染症拡大影響の長期化に加え、2022年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻の影響などから、「原材料高、入手難、販売価格への転嫁難」が今期の主な問題点となっている。

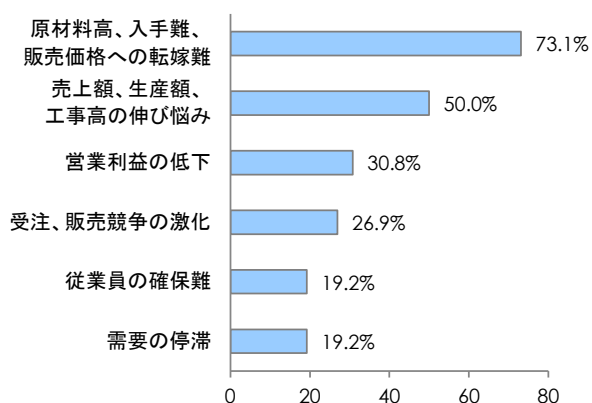
全産業



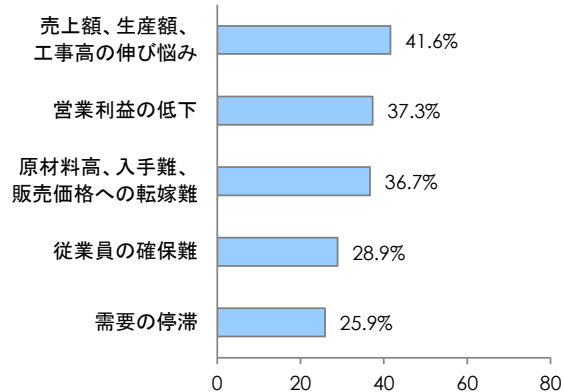
小規模企業等



製造業



非製造業



新型コロナウイルス感染症拡大を受け、企業への影響を調べるため、本調査を実施。181社（45.3%）より回答があった。

・令和4年1～3月の新型コロナウイルス感染症の影響による貴社の現在の経営状況について

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
悪化した	42	22.6	3	12.5	39	24.1	35	27.8
多少悪化した	51	27.4	6	25.0	45	27.8	36	28.6
変わらない	83	44.6	14	58.3	69	42.6	47	37.3
回復した	10	5.4	1	4.2	9	5.6	8	6.3
合計	186	100.0	24	100.0	162	100.0	126	100.0

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後、検討・計画している貴社事業の対応

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
既存事業の拡大・伸展・維持	51	31.5	5	22.7	46	32.6	36	34.0
事業再構築（業態転換、新分野進出等）	19	11.7	1	4.5	18	12.8	14	13.2
事業規模縮小	4	2.5	0	0.0	4	2.8	4	3.8
休業	2	1.2	1	4.5	1	0.7	2	1.9
廃業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	9	5.6	2	9.1	7	5.0	5	4.7
特になし	102	63.0	15	68.2	88	62.4	65	61.3
合計	162	100.0	22	100.0	141	100.0	106	100.0

・支援メニューのうち、令和4年1月以降に利用されたもの

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
融資（民間金融機関）	11	15.1	0	0.0	11	18.0	4	7.8
融資（日本政策金融公庫）	7	9.6	0	0.0	7	11.5	6	11.8
雇用調整助成金	20	27.4	5	41.7	15	24.6	13	25.5
中小企業等事業再構築補助金（国）	3	4.1	0	0.0	3	4.9	1	2.0
事業復活支援金（国）	37	50.7	4	33.3	33	54.1	31	60.8
小規模事業者持続化補助金（国）	7	9.6	2	16.7	5	8.2	7	13.7
（一般型）	(3)	—	(2)	—	(1)	—	(3)	—
（低感染リスク型ビジネス枠）	(3)	—	(0)	—	(3)	—	(3)	—
緊急事態措置・まん延防止等重点措置の影響緩和のための月次支援金（国）	5	6.8	1	8.3	4	6.6	5	9.8
長崎市営業時間短縮要請協力金	11	15.1	0	0.0	11	18.0	9	17.6
長崎市中小事業者等一時金	10	13.7	2	16.7	8	13.1	8	15.7
その他	10	13.7	2	16.7	8	13.1	7	13.7
合計	73	100.0	12	100.0	61	100.0	51	100.0

・ロシアのウクライナ侵攻による影響はありますか

（社、%）

	全産業		製造業		非製造業		小規模企業等	
ある	64	35.6	9	36.0	55	35.5	47	38.2
特になし	116	64.4	16	64.0	100	64.5	76	61.8
合計	180	100.0	25	100.0	155	100.0	123	100.0